

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

1. 製品及び会社情報

製品名 : クロロフェノールレッド
会社名 : 関東化学株式会社
住 所 : 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-11-5
担当部門 : 試薬事業本部 技術部 企画資料課
電話番号 : (03) 3639-8301
F A X 番号 : (03) 3639-9435
整理番号 : 07297

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : 4,4'- (3H-2,1-ベンゾオキサチオール-3-イリデン)ビス(2-クロロフェノール)S,S-ジオキシド
成分及び含有量 : クロロフェノールレッド 80%以上
化学特性(示性式) : C₁₉H₁₂Cl₂O₅S
官報公示整理番号 : 化審法 ; 設定されていない
安衛法 ; -
C A S No. : 4430-20-0

3. 危険有害性の要約

有害性 : 皮膚、眼などを刺激し、炎症を起こすことがある。経口摂取すると、口、のど、胃が刺激され、悪心、嘔吐などを起こす。
環境影響 : データなし
物理的及び化学的危険性 : 加熱すると分解するが、危険性は特にない。
分類の名称(分類基準は日本方式) : 分類基準に該当しない。

4. 応急処置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
使ってはならない消火剤 : 特になし
特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
除去方法 : 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : みだりにエアロゾル、粉塵が発生しないように取扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 ; 設定されていない
ACGIH ; 設定されていない

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 粉末
- 色 : 暗赤色-黒褐色
- 臭い : 無臭

物理的状態が変化する特定の温度 / 温度範囲

- 沸点 : 分解
- 融点 : 261-262
- 密度 : データなし

溶解性

- 溶媒に対する溶解性 : 水 ; 難溶
有機溶媒 ; エタノール、酢酸に易溶

その他のデータ

- : 水酸化ナトリウム溶液に可溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
- 反応性 : 強酸剤と接触すると、反応することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、硫黄酸化物、塩素、塩化水素

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 経口摂取すると、悪心、嘔吐、腹痛などを起こす。
- 局所効果 :
- 刺激性 (皮膚、眼) : 眼に入ると、眼が刺激される。
- 感作性 : データなし
- 慢性毒性・長期毒性 : データなし
- 発がん性 : IARCおよびNTPのリストに記載されていない。
- 変異原性 : データなし
- 催奇形性 : データなし
- 生殖毒性 : データなし

12. 環境影響情報

残留性 / 分解性 : データなし
生態蓄積性 : データなし
生態毒性
魚毒性 : データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 可燃性溶剤と混合して、スクラパーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制 : 適用法令なし
国連分類 : 分類基準に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法 : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献 有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社（1985）

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

また、含有量、物理 / 化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。